

1 事業の概況

利用者の地域での生活が安定することを目標に通所・訪問事業を実施している。

支援プログラムの中心は、本木荘トライワーク・プログラムである。所内作業の参加者が一番多く、参加者は作業をするために本木荘へ通所している。地域包括支援センターと連携しての脳トレ・太極拳教室への参加も推進している。部屋に引きこもらないように、日中活動への参加をはたらきかけている。

借上げアパートや社会復帰促進事業を用いてアパート生活訓練を行い、地域のアパートに転居している。金銭管理やアルコール依存症等の課題が浮き彫りになり、アパート生活継続が困難になった場合は、本木荘に再度入所受入れをしている。

各種依存症などの疾患を抱えながら、通所事業を利用する利用者が多くなっている。医療機関との連携や服薬管理等の支援を実施している。安否確認のチェック体制を強化することで、利用者の安心・安全確保を実践している。

2 主要目標と取組

- (1) 本木荘トライワーク・プログラム等を活用した支援の提供
- (2) 依存症利用者への新たな支援の在り方について検討（ハームリダクション）
- (3) 福祉事務所を始めとする関連機関と連携した包括的な支援の実施
- (4) 定期的な安否確認による利用者の安全確保
- (5) 年間入所目標（月初利用）

区 分	30 年度目標	29 年度目標	29 年度実績(見込)
通所	23 人	22 人	22 人
訪問	2 人	3 人	1 人

3 管理運営

- (1) 日常の援助（施設の設備・専門機能サービスの提供）
 - ① 本木荘トライワーク・プログラムによる中間的就労の提供
 - ② 生活上のサービス提供（食事・入浴・洗濯等のサービス提供）
 - ③ 嘱託医・看護師による健康相談（服薬状況等健康管理支援）
 - ④ 栄養士による食事指導（栄養相談・調理実習等栄養管理支援）
 - ⑤ 職業相談員による求職相談、就労支援
 - ⑥ バックアップセンター利用者支援事業の活用（心理相談・法律相談等）
 - ⑦ 依存症利用者への新たな支援の在り方について検討（ハームリダクション）
- (2) 個別プログラム
 - ① 日常生活支援（各種事務手続、対人関係調整等）
 - ② 金銭管理支援（家計費等の状況確認と助言、預り金を含む金銭管理等）
 - ③ 衛生管理支援（居室清掃、入浴・洗濯の確認、ゴミ出し援助等）
 - ④ 関係機関との連携、社会資源の活用支援
- (3) 諸行事（集団プログラム）
 - ① 通所事業単独行事 通所懇談会（月 1 回）、調理実習（随時）、バーベキュー、散策会、カラオケ会、食事会、ボウリング会
 - ② 更生施設合同行事 保健栄養教室、夏祭り、ソフトボール、太極拳、地域包括支援センター合同行事、もちつき大会

4 その他

- (1) 緊急時の対応
 - ① 緊急時の電話相談
 - ② 安否不明の利用者に対し電話連絡及び緊急訪問
 - ③ 居宅生活が一時的に困難となった利用者への緊急宿泊対応
- (2) 地域における被保護者の積極的受入れ
- (3) 通所訪問事業利用者 O B のアフターケア（O B 支援事業）
- (4) 包括支援センター等関係機関との各種行事を通じた地域交流促進
- (5) 震災時の連絡や対応方法について日常から啓発・指導